聖書考古学資料館主催
第２０回　春の講演会のご案内

「 ベテル発掘調査報告　その１ 」

日　時　　２０１３ 年 ６ 月 ２２ 日（土）　午後 ２ 時ー ４ 時

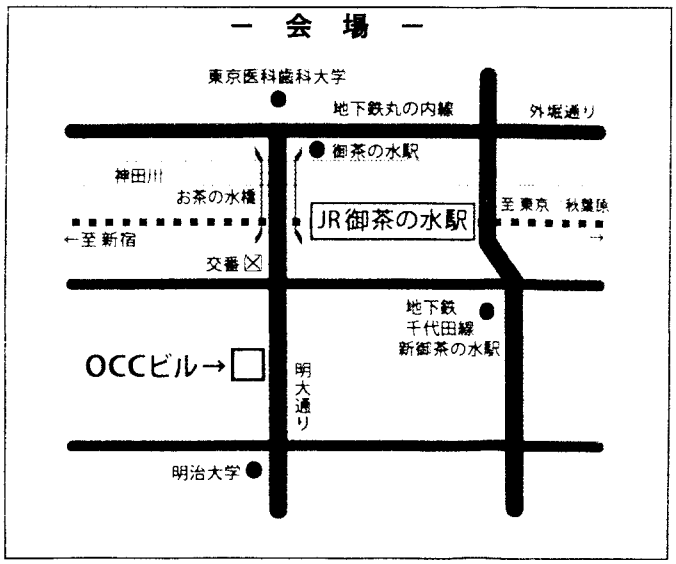
場　所　　お茶の水クリスチャンセンター　４１５号室
千代田区神田駿河台２－１　OCCﾋﾞﾙ　4階
＊入場無料（席上献金あり）

講　師　　菊池　実　師

東京基督教大学準教授（ヘブライ語、聖書考古学、第Ⅱ神殿時代史など）
法政大学文学部史学科卒、TCC神学専攻科卒、エルサレム聖地研究所（現エルサレム大学院大学）、初代キリスト教研究センターで研修。

著書：聖書神学事典（共著）、イスラエル聖書地図（監修）、
CS成長センター「聖書の世界」、テインデル聖書注解（翻訳）など。

慶應義塾大学のプロジェクトとして昨年スタートした「テル・ベィティン」の初年度の調査概要をリポートします。
聖書のベテルとされる所であり、オルブライトの調査以来ビザンチン時代からの巡礼の痕跡、またテル付近の鉄器時代の遺構などが確認されています。
今回、改めて村全域の予備調査を行い、2013年度からの本格的な発掘への準備としました。今回の講演では、パレスチナの村落の様子、パレスチナ自治政府との協力、地域協力、地域貢献のビジョン、予備調査の概要など、発掘の周辺的な部分と、また、予備調査で見えてきた発掘の見通しなどについて、スライドを通して紹介したいと願っています。



一般社団法人　聖書考古学資料館
〒101-0062
千代田区神田駿河台２－１　OCCﾋﾞﾙ403
TEL　03-3304-7788（お問い合わせ先）
FAX　03-3304-7730
http://www.tmba-museum.jp